

令和2年12月

新型コロナウイルス感染症対策としての
音楽科の活動内容制限に関する対応や扱いにつきまして（小学校）

教育出版株式会社 音楽編集部

新型コロナウイルス感染症対策として、自治体や学校のご判断により、音楽の授業が行われる際に、以下の内容を避ける旨の指針が示され、そって指導計画を作成する場合があります。

- ★歌唱や合唱、発声を伴う音楽づくりの活動
- ★鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの吹奏楽器の演奏活動

そのため、弊社発行の小学校音楽科教科書「小学音楽 音楽のおくりもの」をご使用いただいている学校におかれましては、音楽の授業時数など各学校の実態に合わせて、平時の年間指導計画例以外の対応も含め、ご検討くださいますようお願いいたします。

また、どのような対応が考えられるかを、1月から3月までの題材・教材を用いて簡単に例示しますのでご活用ください(次ページからの別表)。

<ご指導の際の留意点>

- ・ 弊社の小学校の教科書では、題材やコーナーごとに教材や活動を設定しておりますので、上記の活動以外の学習活動も組み込まれており、題材等の目標にそって扱うことで、年間指導計画を大きく変更することなく対応が可能です。
- ・ 随時教材や毎時教材は、時期の調整や、吹奏楽器の授業以外での扱いが考えられます。
- ・ 可能な範囲でのマスクの着用や、声の大きさ、児童同士の間隔への配慮、打楽器のばちや鍵盤楽器の鍵盤など、共有する用具の衛生管理等に十分にご留意ください。
- ・ 体を動かす活動にあたっては、着席して上半身だけで表現することが考えられます。児童同士の間隔に配慮した位置で着席することや、活動の際大きく息が上がらないようなご配慮をお願いいたします。

なお、学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動の、扱いや時数等については、弊社 HP「学習活動の重点化等に資する年間指導計画参考資料」

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/textbook/shou/ongaku/document/ducu1/plan-r2.html>

をご参照ください。

令和2年度小学校で扱う題材・コーナーにおける
「歌唱教材，鍵盤ハーモニカやリコーダーを扱う教材」に関する対応例（1月～3月）

※グレーのامي部分は，指導時期を調整する。

学年	題材(コーナー)	教材名	対応例
1年	きよくのながれ	p.48 ◎おどる こねこ	鑑賞CDの音源を，旋律の変化や再現，猫の鳴き声を表わす合いの手，楽器の音色などに気を付けて聴く。合いの手に合わせて手などで動きを付けることも考えられる。気付きの交流は声の大きさや，児童同士の間隔に留意して行う。 指導書DVDの演奏映像を活用してもよい。
	(めざせ がっきめいじん)	p.51 おとのな がさをくふうし てふこう	表現CDの音源を聴きながら，心の中で歌詞で歌い，鳴き声に合った歌い方や音の長さを意識する。 鍵盤ハーモニカは，既習事項を確認しながら，実際に演奏する活動を学校の授業以外の場で行うことも考えられる。
	うたでまねっこ	p.52 もりのく まさん	表現CDの音源を聴きながら，心の中で歌詞で歌ったり，歌詞が表している様子や物語を想像しながら合わせて身振りをしたりする。 フレーズを真似ながら歌っている面白さに気付く。
		p.54 フルーツ ケーキ	表現CDの音源を聴きながら，心の中で歌詞で歌ったり，楽器を打ったりする。 好きなフルーツの名前を考えて3拍子のリズムにあてはめ，心の中で唱えてみる。発表するときは，声の大きさや，児童同士の間隔に留意する。
	みんなであわせて	p.56 おもちゃの チャチャチャ ◎おもちゃのこ うしん	表現CDの音源を聴きながら，「おもちゃのチャチャチャ」を心の中で歌詞で歌ったり，手や楽器を打ったり，身振りを付けたりする。 手拍子で，「おもちゃのチャチャチャ」から

			<p>抽出したリズムを打ったり重ねたりして遊ぶ。</p> <p>鑑賞 CD の「おもちゃのへいたい」の音源を、合わせて上半身などを動かしながら聴き、楽器の音色、旋律の変化や再現などに気付く。気付きの交流は声の大きさや、児童同士の間隔に留意して行う。</p>
	(おとの スケッチ)	p.58 ほしの おんがくをつくろう	<p>表現 CD の「きらきらぼし」の音源を聴き、合わせて心の中で歌詞やドレミで歌う。</p> <p>鉄琴などで「どれみふぁそ」の鍵盤の位置を確認する。</p> <p>教科書 p.59 の星座図の音をつないで演奏し、できた旋律をつなげたり重ねたりする。</p> <p>鍵盤ハーモニカを利用する場合は、既習事項を確認しながら、旋律を演奏する活動を学校の授業以外の場で行うことも考えられる。</p>
2年	きよくの ながれ	p.46 ◎そりすべり	<p>鑑賞 CD の音源を特徴的な音に気を付けて聴き、気付いたことを教科書 p.46 などに書き留める。</p> <p>音楽に合わせて上半身などを動かしながら聴き、曲想を感じ取るとともに、旋律の変化や再現などに気付く。</p> <p>気付きの交流は声の大きさや、児童同士の間隔に留意して行う。</p>
	くりかえしと かさなり	p.48 汽車は走る ◎しゅっぱつ	<p>汽車の様子を思い浮かべ、上半身などを動かしながら表現 CD の「汽車は走る」の音源を聴く。</p> <p>音源に合わせてアヤイのパートを心の中で歌い、速度の変化やイの音型の繰り返しに気付く。</p> <p>木琴やオルガンなど楽器の演奏を、衛生面に留意しながら交代で行うことも考えられる。</p> <p>鑑賞 CD の「しゅっぱつ」の音源を、汽車を表す音などに気を付けて聴く。また、音</p>

			<p>楽に合わせて体を動かすなどしながら聴き、気付いたことや想像した様子、その理由を交流する。</p> <p>気付きの交流は声の大きさや、児童同士の間隔に留意して行う。</p>
みんなで 合わせて	p.50 ウンパッパ ◎ティニックリング	<p>表現 CD の「ウンパッパ」の音源を聴き、3 拍子の流れや曲想を感じ取りながら心の中で歌ったり、アトイそれぞれの旋律に合った動きで上半身などを動かしたり、拍打ちしたりする。</p> <p>竹の音に注目して鑑賞 CD の「ティニックリング」の音源を聴きながら、3 拍子に合わせて上半身などを動かしたり、拍打ちしたりする。</p>	
	p.52 チャチャマンボ ◎マンボ ナンバー ファイブ	<p>表現 CD の「チャチャ マンボ」の音源を聴きながら、心の中で歌ったり、ウのパートのリズムを手で打ったりして、曲想を感じる。</p> <p>また、楽譜を見てアイウのパートをそれぞれ追いながら音源を聴いたり、リズムを打ったり、交代で楽器を演奏したりする。衛生面に留意して行う。</p> <p>鑑賞 CD の「マンボ ナンバー ファイブ」の音源を聴きながら、合わせて上半身を動かしたり、特徴的なリズムや掛け声、楽器の音に注目したりする。</p>	
(にっぽんのうた みんなのうた)	p.54 春が きた (共)	<p>表現 CD の音源を聴きながら、心の中で歌い、歌詞の表す様子や、リズムの特徴、どんな声で歌いたいかなどについて意見を交流する。</p> <p>また、心の中でドレミで歌い、旋律の特徴や歌詞との関わりについて考える。</p> <p>共通教材なので、次年度へ申し送りの上で、指導時期の変更も考えられる。</p>	

	(音のスケッチ)	p.56 みんなの音楽時計をつくらう	表現CDの「おしゃべり音楽時計」の音源を聴きながら、各パートを心の中で歌い、時計を表す音型の面白さに気付く。 鑑賞CDの「ウィーンの音楽時計」の音源を、時計を表す音に気付いて聴く。 教科書 p.57 に示された音型を心の中で唱えながら、手拍子や楽器を打ち、友達と重ね方を工夫して楽しむ。また、鑑賞曲との共通点に気付く。衛生面に留意して行う。
	クリスマスソングを歌おう	p.58 ジングルベル ◎クリスマスソングメドレー	表現CDの「ジングルベル」の音源を聴きながら、心の中で歌ったり、リズムによって上半身などを動かしたりして、曲の気分を感じ取る。 鑑賞CDの「クリスマスソングメドレー」の音源を、現れるそれぞれの曲の曲想を感じ取りながら聴く。
3年	アンサンブルの楽しさ	p.50 せいじゃの行進 ◎せいじゃの行進	表現CDの音源を聴きながら、心の中で歌ったり、パートごとに楽譜を目で追って役割を感じ取ったりする。また、リズムを手で打つなどして、曲想を感じ取る。 リコーダーや鍵盤ハーモニカは、運指など学習事項を確認したうえで、実際に演奏する活動を学校の授業以外の場で行うことも考えられる。 鑑賞CDの音源を聴きながら、合わせて教科書に示されたリズムを打ったり、特徴的なリズムや楽器の音に注目したりして、デキシーランド・ジャズの音楽を楽しむ。
	(めざせ 楽き名人)	p.52 ひびきを大切にふこう	リコーダーは、運指や息遣いなど学習事項を確認したうえで、実際に演奏する活動を学校の授業以外の場で行うことも考えられる。

<p>ききどころを見つけて</p>	<p>p.54 ◎組曲「ア ルルの女」から</p>	<p>鑑賞 CD の「メヌエット」「ファランドール」の音源を、それぞれ旋律の反復や変化、楽器の音色などに注目して上半身などを動かしながら聴いていく。</p> <p>「ファランドール」については気付いたことを教科書 p.55 などに書き留める。</p> <p>指導書 DVD の演奏映像を活用してもよい。また、「ファランドール」は<まなびリンク>の資料映像も活用できる。</p> <p>フルートについては、教科書 p.75 や、<まなびリンク>の資料（p.75 対応）を活用して理解を深めることも考えられる。</p>
<p>みんなで合わせて</p>	<p>p.56 パフ</p>	<p>表現 CD の音源を聴きながら、心の中で歌ったり、パートごとに楽譜を目で追って役割を感じ取ったりする。また、リズムを手で打つなどして、曲想を感じ取る。</p> <p>歌詞の表す物語を捉え、曲の魅力を感じ取る。</p> <p>リコーダーは、運指など学習事項を確認したうえで、実際に演奏する活動を学校の授業以外の場で行うことも考えられる。</p>
<p>(音のスケッチ)</p>	<p>p.58 音のひびき や組み合わせを 楽しもう</p>	<p>各打楽器は扱う順番や担当を決め、衛生面に留意しながら試したり聴き合ったりして、楽器ごとの特徴に気付いていく。また、児童同士の間隔等に留意しながら意見交換し、音楽をつくる。</p>
<p>(物語の音楽を楽しもう)</p>	<p>p.60 ◎ピーター とおおかみ</p>	<p>鑑賞 CD の音源を、各楽器の音色や旋律と、表しているキャラクターや物語との関わりに気を付けて聴き、気付いたことやイメージしたことを書き留める。</p> <p>教科書 p.75 や、<まなびリンク>の資料（p.75 対応）などをもとに、木管楽器について知る。</p>

4年	アンサンブルの楽しさ	p.50 ラクンパ ルシート	<p>楽譜を見て表現 CD の音源を聴き、鍵盤ハーモニカの二つのパート（主旋律）を追ったり、リズムを打ったりしながら曲想を感じ取る。</p> <p>スタッカート、シャープ、ナチュラルなど、記号について確認する。</p> <p>鍵盤ハーモニカ、リコーダー、低音の各パートについて、それぞれ心の中で階名唱したり、運指を確かめたり、鍵盤楽器については指番号で心の中で歌ったりする。</p> <p>リコーダーや鍵盤ハーモニカは、運指などを確認したうえで、実際に演奏する活動を学校の授業以外の場で行うことも考えられる。</p>
	ききどころを見つけて	p.52 ノルウェー 舞曲 第2番	<p>鑑賞 CD の音源を、合わせて体を動かしながら聴き、速度の変化を感じ取る。</p> <p>教科書 p.53 をもとに、旋律の変化や再現、速度の変化、楽器の音色などに気を付けて聴き、気付いたことや、曲の良さなどを書き留め、交流する。</p> <p><まなびリンク>の映像を参考にしてもよい。</p>
	わたしたちの表現	p.54 こきょうの 春（選択）	<p>楽譜を見て、1のパートを追いながら表現 CD の音源を聴き、合わせて心の中で歌詞で歌う。また、心の中で階名唱して、リコーダーの運指を確かめる。</p> <p>2のパートも同様に学習する。</p> <p>高い音や低い音の吹き方について復習する。</p> <p>リコーダーは、運指などを確認したうえで、実際に演奏する活動を学校の授業以外の場で行うことも考えられる。</p>

		p.55 グッデー グッバイ (選 択)	歌詞を見ながら表現 CD の音源を聴き、合 わせて上のパートを心の中で歌って曲想を 感じ取ったり、盛り上がる場所を見つけ たりする。 下のパートも音源に合わせて心の中で歌っ てみる。 一人ひとりが誰に対してこの曲を歌いた いかや、どのように歌いたいかを考える。
		p.55 わたしたち の生活と音楽	<わたしたちの生活と音楽>を読み、学校 生活で音楽が使われている場面や、校外で 音楽が使われている場面について考え、そ の効果について思ったことを書き留め交流 する。
	(音のスケッチ)	p.56 役わりをも とに音楽をつく ろう	学校の授業以外で、例示のフレーズをリコ ーダーなどで吹いて確認したり、p.56 上に 提示された 6 音から音を選び、マイフレー ズをつくったりする。 お話し役、支え役、飾り役それぞれの役割 を意識しながら、表現 CD の創作例の音源 を聴く。 「お話し役」の楽器を吹奏楽器以外で演奏 して、グループで音楽をつくることも考え られる。衛生面に留意して行う。
	(いろいろな歌声を楽し もう)	p.58 ◎歌げき 「魔笛」から	鑑賞 CD の音源を利用し、各曲の演奏者の 歌声や旋律の特徴に気を付けて聴き、気付 いたことやイメージしたことを書き留め る。
5 年	(にっぽんのうた みんなの うた)	p.48 スキーの歌 (共)	表現 CD の音源を聴き、合わせて心の中で 歌い、曲想を感じ取る。また、感じたこと や想像した様子、旋律と言葉の結びつきに ついて感じたことを書き留める。 旋律の反復と変化に気付く。 共通教材なので、次年度へ申し送りの上で、 指導時期の変更も考えられる。

	ききどころを見つけ て	p.50 ◎つるぎの まい	鑑賞 CD の音源を利用し、教科書 p.51 を 参考に、注目する音型や合いの手、旋律ご とに合わせて体を動かしながら聴く。 体を動かすことにより、楽器の音色、旋律 の変化や再現、速度の変化などに気付いて 聴く。 <まなびリンク>の映像を参考にしてもよ い。 気付いたことや、曲の良さなどを教科書 p.51 など書き留める。
	わたしたちの表現	p.52 ルパン三世 のテーマ（選 択）	楽譜を見て、リコーダーや鍵盤ハーモニカ のパートの主旋律を追いながら表現 CD の 音源を聴く。また、心の中で階名唱して、 リコーダーの運指を確かめる。 各パートも同様に確かめる。 リコーダーや鍵盤ハーモニカは、運指など を確認したうえで、実際に演奏する活動を 学校の授業以外の場で行うことも考えられ る。
		p.52 君をのせて （選択）	歌詞を見ながら表現 CD の音源を聴き、合 わせて心の中で上声部を歌って曲想を感じ 取ったり、盛り上がる場所を見つけたり する。 下声部も同様に心の中で歌い、パートの役 割や関わり合いについて考える。
	(音のスケッチ)	p.56 ずれの音楽 を楽しもう	「◎クラッピング ミュージック」を鑑賞 CD の音源を利用し、何人でどのように演 奏している音楽なのか想像して聴く。 <ずれの音楽を楽しもう>では、提示された リズムフレーズを拍にのって打って確認 し、ずらし方を様々に試す。 ずらし方を工夫しながら音楽をつくる時 きは、児童同士の間隔など衛生面に配慮する。

	(変奏曲を楽しもう)	p.58 ◎ピアノ五重そう曲「ます」第4楽章	<p>歌曲「ます」を鑑賞CDの音源を利用して聴き、旋律を捉える。</p> <p>「◎ピアノ五重そう曲『ます』第4楽章」を鑑賞CDの音源を利用し、旋律の変化や楽器の移り変わりに気を付けて聴き、気付いたことを書き留める。</p> <p>シューベルトについて調べることも考えられる。</p>
6年	私たちの国の音楽	p.36 越天楽今様(共)	<p>歌詞を心の中で読んだり、表現CDの音源を聴いて言葉や旋律の特徴を感じ取ったり、合わせて心の中で歌ったりする。</p> <p>笛の旋律を心の中で階名唱し、運指を確認する。</p> <p>鑑賞CDの参考音源を利用して、雅楽「越天楽」を聴くことも考えられる。教科書p.75の雅楽の演奏写真や、<まなびリンク>の資料を参考にしてもよい。</p>
		p.38 ◎春の海	<p>鑑賞CDの音源を利用し、箏と尺八の音色、二つの楽器の関わり合い、旋律や速度の変化などに気を付けて聴く。</p> <p>気付いたことや感じ取ったこと、曲の魅力やその理由を書き留める。</p>
	(音楽にできること)	p.40 心を伝える 心をつなぐ	<p>教科書に掲載されている各団体の活動について読み、感じたことを書き留める。</p> <p>団体を選んで調べ学習をしたり、音楽によって人々の心が結ばれるような経験や、身の回りにそのような活動をしている団体があれば書き留める。</p> <p>感染症影響下での、個人や団体の多様な取り組みや企画などを調べることも考えられる。</p>
	音楽に思いをこめて	p.42 ふるさと(共)	<p>歌詞を心の中で読んだり、詩や楽譜を見ながら表現CDの音源を聴いたり、合わせて心の中で歌ったりして、1番から3番まで、それぞれのどのような気持ちを表しているか、感じたことやイメージしたことを書</p>

			<p>き留める。</p> <p>また、3拍子を感じたり、旋律の動きや強弱記号を確認したりしながら、音源を聴いたり心の中で歌ったりして、気付いたことを書き留める。</p>
		p.44 Take Me Home, Country Roads (選択)	<p>曲の特徴やリコーダーの響きに気を付けながら表現 CD の音源を聴く。</p> <p>心の中でドレミで歌ったり、運指を確認したりする。</p> <p>フレーズなどの曲の特徴や、パート同士の関わり合いに気付き、どのように演奏したいかを考える。</p> <p>リコーダーは、運指などを確認したうえで、実際に演奏する活動を学校の授業以外の場で行うことも考えられる。</p>
		p.45 さようなら (選択)	<p>楽譜を見ながら表現 CD の音源を聴いたり、合わせて心の中で歌ったりして、感じたことやイメージしたことを書き留める。</p> <p>また、パート同士の関わり方や強弱記号を確認しながら音源を聴いたり心の中で歌ったりして、曲の特徴など気付いたことを書き留める。</p>
	(音のスケッチ)	p.46 役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう	<p>衛生面に留意して学習活動を行う。</p> <p>「帆」を鑑賞 CD の音源を利用し、音階による響きの変化に留意して聴く。</p>
	(ジャズとクラシック音楽の出会い)	p.48 ◎ラプソディー イン ブルー	<p>鑑賞 CD の音源を利用し、リズムや旋律の特徴、楽器の奏法や音色など、曲の魅力を見つけながら聴く。</p> <p>また、ピアノとオーケストラの関わり合いの面白さを感じ取って聴き、気付いたことを書き留める。</p>